

令和6年9月24日

能代市教育委員会
9月定例会会議録

能代市教育委員会

令和6年9月24日、能代市教育委員会定例会を能代市役所本庁舎3階会議室9・10において、午後2時に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高 橋 誠 也
委 員	木 村 高 寛
委 員	西 村 省 一
委 員	中 嶋 佐千子
委 員	寺 田 恵美子

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	有 山 勇
教育部次長	田 口 俊 成
教育総務課長	荒 川 幸 代
能代教育事務所長	渡 辺 真
学校教育課長	安 部 芳 幸
学校教育課参事	湊 正 人
学校教育課課長補佐	秋 林 純
学校給食センター所長	川 崎 武 信
生涯学習・スポーツ振興課長	赤 塚 悟
生涯学習・スポーツ振興課	
文化財保護室長	工 藤 英 子
教育総務課課長補佐	大郷司 真 一

○オブザーバーとして参加した者は、次のとおりである。

学校教育課指導主事	佐々木 大
-----------	-------

○本日の会議に付した事件

- 日程第1 会期の決定
- 日程第2 会議録署名員の決定
- 日程第3 前回定例会会議録の承認
- 日程第4 教育長報告
- 日程第5 その他

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後4時までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、3番西村委員と6番寺田委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さまから異議がないので、前回8月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

8月25日(日) 能代ジュニアカップサッカー大会(能代市落合球技場)

9月1日(日) 秋田県総合防災訓練視察(能代港下浜埠頭)

9月3日(火) 市議会定例会(～27日 本庁舎 議場)

9月17日(火) 教育委員会学校訪問(第四小学校)

9月18日(水) 令和6年度能代市校長会第2回校長研修会(第五小学校)

9月24日(火) 令和6年度教育条件整備等に関わる話し合い(二ツ井町庁舎 庁議室)

9月24日(火) 教育委員会定例会(本庁舎 会議室9・10)

9月30日(月) 教育委員会学校訪問(淳城南小学校)

10月3日(木) 豊島区との教育交流(～4日 豊島区を訪問)

10月8日(火) 令和6年度「登校時一声運動」(JR二ツ井駅)

10月10日(木) 令和6年度能代市山本郡校長会第2回定例会(二ツ井中学校)

10月11日(金) 教育委員会学校訪問(向能代小学校、東雲中学校)

10月16日(水) 教育委員会学校訪問(二ツ井小学校、二ツ井中学校)

10月18日(金) 秋田県学校体育研究会 能代山本大会

(向能代小学校、能代第一中学校)

10月19日(土) 第30回きみまちの里フェスティバル ～20日(日)

10月20日(日) 第30回きみまち二ツ井マラソン

10月23日(水) 能代山本市町教育委員会連合会 研修会(山本公民館 他)

10月24日(木) 教育委員会学校訪問(能代第二中学校)

10月24日(木) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 大会議室)

【日程第5 その他】

○教育長

「その他」について

各課から 報告事項や連絡事項があれば、願います。

○教育部長

令和6年9月市議会定例会の概要について

①一般質問の内容について《資料により説明》

②決算特別委員会文教民生分科会の審査状況について《資料により説明》

③文教民生委員会の審査状況について《資料により説明》

④予算委員会文教民生分科会の審査状況について《資料により説明》

○教育長

質問等をお願いする。

○西村委員

中学校部活動の地域移行について、能代市のモデルケースとなるソフトボール競技は、具体的にどのようにやっているか教えていただきたい。

○生涯学習・スポーツ振興課長

昨年度に年次計画を作ったが、体制の見直しということで現在取組事務が停滞しており、お詫び申しあげたい。具体的には、母体となる組織が、全市で1つのチームとして活動しなければいけないものと、反対に団体が複数存在するものがある。画一的に進めることが難しいという状況があり、細かいところまで詰め切れない中で、まずは進めながら移行していくということで進めてきた。しかし、これらの認識を共有できない状況で業務委託による事業推進は難しいと判断し、体制を見直すこととした。そのため、今回9月補正で関係予算を減額させていただいた。

モデルケースについては、全市で1つのチームにならないと人数を確保できないソフトボール競技で取り組んでおり、市では指導者の謝金、練習場所の確保等の支援をしている。今後は、モデルケースで得た課題等を取りまとめ、各クラブが地域移行するための資料を提供しながら進めていきたいと考えている。令和8年度まで取り組みを進めることとしているが、今後の進捗状況等も踏まえ、年次計画の見直しについても検討させていただきたい。

○西村委員

いろいろ大変な面もあるかと思うが、今後とも頑張ってください。

○教育長

他に質問等がないようなので、質疑を終了する。

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いする。

○寺田委員

先月、高校PTAの全国大会で茨城県水戸市に研修に行ってきたが、保護者として親として、非常にたくさんのことを学ばせていただき、また、教育委員としても気付かされることがあった。その中で私が強く心を動かされたこと、感じたことを2点、お話しさせていただきたい。

1点目の就学前の取り組みについて、能代市は子どもが誕生した瞬間から手厚く一人一人を大切にしており、長きにわたって乳幼児健診や新入学児童健診等を実施している。その中で、他の市区町村に先駆けて行っている5歳児親子相談が話題に上がり、5歳という年齢が非常に重要であるということを、教育関係者、医療関係者、行政関係者等が口を揃えて仰っていた。就学の半年前の5歳時に何か気が付くことができれば、その子を何とかできるというようなことを仰っており、能代市が5歳時に親子相談を実施していることがすごいことであったと改めて実感した。また、福祉関係者から、歯の健康を見ることでネグレクト等の虐待に関することも早期に気づくことができるというお話があり、とても心に残った。そして最後に、パネリストの方から、愛情に相反する言葉は何かという問いかけがあり、それは無関心であると仰っていた。子どもたちが愛情を感じないのは、自分に関心が向けられていないからだということを聞いて、改めて私も子ども一人一人に関心を持って、教育委員会にも臨んでいきたいという思いを持った。

2点目の中学校部活動の地域移行について、能代市はとても真剣に取り組んでいる。部活動は学校教育の一環として位置づけられ、全員加入としているほど大事なものだと思う。子どもたちも部活動を通して培ってきたことがたくさんあるのではないかな。大人側からの体制づくりではなく、子ども主体であってほしい。部活動を通して子どもたちに何を学んでほしいのかというところを見失ってほしくないと思った。

○木村委員

寺田委員は大変すばらしい経験をされてきたと思う。私自身の経験と比較してみると、以前は子育て関係のものは私が日本の先駆者だと感じている福岡県の制度を学ばせていただいていたが、能代市の場合、子どもの健診に行っても人数が少なく、福岡県の制度をそのまま持ってきても合わないため、人数が少ないなりにやり方を工夫する必要があると感じた。子育ては、我慢と忍耐、そして最後は愛情だと思っている。

また、部活動の地域移行について、小学校はスポ少制度がある程度成立しているため、割と簡単に移行できると思うが、中学校はそうはいかないだろうと感じる。都会では、プロのクラブチームで小学校から段階的に上がっていく組織があるが、田舎は子どもの数が少ないため、そういう組織を持つことはできないと思う。あまり、スポ少という組織だけを捉えるのではなく、学校の休み時間にクラスの友達と遊べるような時間が一番子どもを成長させる時間だと思う。子どもたちが学校の中でスポーツをすることができる時間を作ってあげたら素敵だなと思っている。

○教育長

他に意見等がないようなので、終了する。

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、令和6年10月24日午後2時から、能代市役所二ツ井町庁舎2階大会議室において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後2時50分閉会